

地域の防災について町内



出席者 **30人90分間の意見はコチラ!!**



<当日いただいたご意見（抜粋）>

- ・非常用食料などの備蓄は、多目的低温倉庫と市立病院だけではなく分散したほうがよい。
- ・コミュニティセンターには、冬季の暖房や携帯電話の充電を考え、発電機があったほうがよい。
- ・あけぼの町内会では、自然災害・火災・緊急事態に備えて、市自治防災室や消防署の協力を受け、毎年一回防災教室を開いている。まだ自主防災組織は設立されていないが、できるだけ早く組織を立ち上げたいと考えている。
- ・町内会組織を自主防災組織に移行するよう段取りしている。
- ・多度志は水害が多い地区であるため、自主防災組織を14町内会一丸となって立ち上げ、現在、市自治防災室の協力を得ながら防災訓練を行っている。
- ・現在の多度志における避難所の安全性は大丈夫なのか？市に対して旧多度志中学校を避難所にできないかをお願いしているが、よい回答が出てこない。



<アンケートからのご意見> ※防災以外も含む

- ・コミュニティセンター振興会等で防災に関する知識普及の働きかけを工夫して欲しい。
- ・時間をさいて多岐にわたって意見交換したい。
- ・意見書の取り扱い、陳情・請願など市民と直接関係のある情報が知りたい。
- ・近年、特によい市議会だよりになった。
- ・多くの議員諸兄は頑張っておられると思う。

町内会長代表者のみなさん、ありがとうございました。当日いただいたご意見をもとに防災を

会長代表者と意見交換！



市民に開かれた議会を目指している深川市議会は、議会改革の一環として、これまでに商工会議所、農業関係団体のほか、シルバークラブ連合会や男女平等参画推進協議会、青年会議所、深川地区連合会などの代表者の方々とさまざまなテーマをもって意見交換を実施してきました。

今回は、平成30年11月26日に深川市町内会連合会連絡協議会の役員を務めている14人の町内会長代表者と「地域の防災」をテーマに意見交換会を開催しました。

議会活動に活かす

当日の深川市町内会連合会連絡協議会からの出席は深川地区2人、一已地区3人、納内地区3人、音江地区4人、多度志地区2人、議会からは全議員（16人）が出席しました。

意見交換会は、長野議長と遠藤町内会連合会連絡協議会会長による挨拶を兼ねた組織が抱える課題の共有からスタートし、次に、小田総務文教常任委員長より、近年の災害状況について説明をしました。その後、自主防災組織の設立に関することや、各町内会が実際に取り組んでいる事例など、具体的な地域課題について、意見を交わしました。

意見交換会は何のため？

意見交換会は、市民のみならず団体とある一定のテーマにそって、それぞれの立場で意見を交わり、その意見内容を今後の議会活動や市政に反映させるために開催するものです。

担当する総務文教常任委員会において所管事務調査などを実施していきます。